



基準月額据え置きを答申

高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画答申

北秋田市高齢者福祉事業運営委員会の奈良正人委員長が2月2日に市役所を訪れ、北秋田市高齢者福祉計画・第8期介護保険事業計画案のうち、介護保険料について基準月額6,460円のまま据え置くと津谷市長に答申しました。

介護保険料について、北秋田市では国が示す9段階を基本とし、第2段階と第3段階については、引き続き低所得者に配慮した市独自の軽減を講ずることとしています。

奈良委員長は「世の中の流れとして、事業の運営が厳しい中、保険料を据え置きできたのは大きい。担当職員からアイデアを練ってもらいながら対応した」などと話しました。



にんにくの利用拡大を目指す

農商工等連携事業計画認定式

令和2年度第3回農商工等連携事業計画認定式が、2月12日に北秋田地域振興局で行われました。

農商工等連携事業計画は、中小企業と農林業漁業者が友好的に連携し、新商品の開発、生産、需要の開拓を行うものです。

今回は「あきたしらかみにんにく」を活用した加工品等の製造、販売事業をテーマに株式会社元氣屋（虻川敬代表取締役会長）、株式会社しらかみファーマーズ（小林郷司代表取締役）、農事組合法人ぬかさわ（出川信久代表理事）、えつりファーム株式会社（兜森和雄代表取締役）、農事組合法人樹海ドーム北ファーム（近藤新吉代表理事）の5事業者が認定を受けました。



今年は平年作以上の豊作

JA秋田たかのす青年部雪中稲刈り・作占い

J A秋田たかのす青年部による雪中稲刈りと作占いが、2月1日に大太鼓の館前で行われました。

この日、1月15日に雪田に植えられた稲が、農業関係者が見守るなか、田植え人を務めた亀山春樹さんが刈り手も務め、ひとつひとつ丁寧に刈り取られました。

刈り取られた稲はJ A秋田たかのす稲作部会長で青年部OBの畠山喜久雄さんによって見立てが行われ、平年作以上の「豊作」とのお告げになりました。

畠山さんは「日照不足などには注意が必要だが、今年は平年作以上になるとあって頑張ってほしい」などと話しました。



伸びやかな歌声に拍手

コム2バンRock×きらフェスライブ

第13回きらきらフェスティバルのイベントである、コム2バンRock×きらフェスライブが、2月7日に市民ふれあいプラザで行われました。

今回は新型コロナウイルス感染予防のため、入場の際は検温やマスク着用、署名、ライブの合間に会場の換気などを行ったほか、YouTubeチャンネルでの生配信も行われました。

ライブには本城奈々さんを始めとする6組のバンドが参加し、自分たちの持ち歌などを披露しました。伸びのある歌声が披露されると、観客は大きな声は出せない代わりに、演奏を披露したバンドへ拍手を送っていました。



市内の医療従事者へ活用を

あきた丸ごと開発株式会社から高性能マスクの寄附

あきた丸ごと開発株式会社の関係者らが、1月21日に市役所を訪れ、新型コロナウイルス感染予防のために市へ高性能マスク350枚を寄附しました。

同社は、2020年3月18日にも感染予防のため、市へ除菌剤を寄附しており、今回で2回目の寄付となります。

今回の寄附に津谷市長は「昨年の除菌剤に引き続き、今回はマスクを寄附していただいた。秋田市内でのクラスターや北秋田保健所管内でも感染者が出て緊張の連続であり、医療関係者は気が休まらない状態である。このような形で応援していただけるのは心強い」などと感謝を述べました。



心を繋ぐ優しい施設に

子育て世代包括支援センター愛称「ココロン」

昨年4月1日に新設された「子育て世代包括支援センター」の愛称が「ココロン」に決定し、考案者である秋田北鷹高校3年肥田初佳さんへ、1月29日に記念品が贈呈されました。

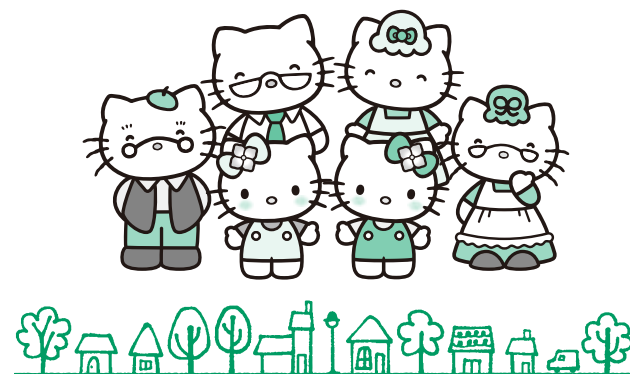
愛称に決まった「ココロン」には、「心」と「コロ」が含まれており、コロは2つの点が並んでいる記号で、利用者と支援者が心を通わせ、一人ひとりに向き合うという意味が込められています。

同校校長室で贈呈式が行われ、記念品としてハローキティのクリアファイルとポロシャツが贈られました。肥田さんは「利用者が安心できる場所になればいい」などと話しました。※ロゴのデザインは佐藤高博地域おこし協力隊制作



市内のいろいろな出来事を紹介します

ちいきの話題



ドンドン! 点が伸びるように

「点が伸びる合格祈願バター餅」の贈呈

1月22日に日本バター餅協会（村井松悦会長）から、高校受験を控えた市内の中学3年生に「点が伸びる合格祈願バター餅」と「ハローキティの缶バッジ（大太鼓ver）」が贈られました。

鷹巣中学校で行われた贈呈式では、同協会の笹木俊雄副会長から学年委員長の佐藤陽斗さんに手渡され「体調を整え、餅のように粘り強く頑張ってください」などと激励しました。また、生徒を代表して石田隼禎さんが「応援してくれる人たちに感謝して受験勉強に挑み、バター餅のように点数を伸ばし粘り強く取り組んでいきたい」などと決意を述べました。

